

平成 18 年 5 月 19 日

各 位

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
代表者名 代表取締役社長 熊谷 信生
(コード番号：6324)
問合せ先 常務執行役員 川喜田 淳
TEL. 03-5471-7810

中期経営計画（2006～2008 年度）に関するお知らせ

当社は、2006 年度から 2008 年度までの 3 年間にに関する中期経営計画を策定いたしましたので、その概要を以下のようにお知らせいたします。

記

■ 中期経営計画の基本方針

当社グループが立脚する事業領域及び事業の目的は、精密減速装置事業にとどまらない「トータルモーションコントロールの提供」であることを再確認し、以下の方針をもって経営を遂行いたします。

1. “トータルモーションコントロールの提供”をより高い次元で実現するため、高付加価値アクチュエーターの開発を基軸に、メカトロニクス製品の事業拡大を目指します。
2. 課題解決（ソリューション）能力でお客様に評価されるグループを目指します。
3. “ものづくり”にこだわり、メーカーとしての競争力を向上します。
4. 企業の社会的責任を重視し、信頼されるグループになることを目指します。

■ 中期経営計画達成のための施策

1. 高付加価値製品の提供による市場での競争優位向上
当社グループが保有するコア技術、技能を深耕・拡充するとともに、お客様の様々なご要求に対し、高い次元の満足を提供することができる仕組みづくりを行います。その際には、PLM(プロダクト・ライフサイクル・マネジメント)の手法とツールを積極的に活用します。
2. 課題解決（ソリューション）能力の向上
営業・開発・製造部門の連携を強化し、お客様が持つニーズを顕在化させるための取り組みを加速します。特に、開発・技術部門の人員がお客様と直接接する機会を増加させるための仕組みを構築し、新たな用途開発を推進します。

3. ものづくり能力の向上

受注から出荷までの一連の業務におけるムダを排除し、清流化生産の仕組みを高度化することで、生産性向上、納期短縮、在庫削減を進めます。また、生産技術部門の充実と技能者の育成を進め、ものづくりによって生み出す付加価値を増加させます。

4. 国際化の推進

日本・米国・欧州、それぞれを拠点とする当社グループ企業の連携を強化しながら、最適なグループ分業体制の構築を進めます。また、市場が急拡大している韓国、台湾での営業体制を強化いたします。

5. 新人事制度の定着

公正かつ高い透明性の確保を目指した新人事制度の効率的定着を図り、活力ある企業風土を醸成します。

■ 中期経営計画の目標値（連結）

（単位：百万円）

	2005 年度実績		2006 年度予想		2008 年度計画	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	売上高比率
売上高	14,452	100.0%	17,000	100.0%	21,500	100.0%
営業利益	3,204	22.2%	3,700	21.8%	5,500	25.6%
経常利益	3,383	23.4%	3,850	22.6%	5,650	26.3%
当期純利益	2,114	14.6%	2,200	12.9%	3,300	15.3%

※本資料に記載の内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報や将来に対する様々な仮定に基づいた事項であり、上掲の当社中期経営計画の実現を保証するものではありません。

以上